



# さくら



【教育目標】  
 豊かな心を持ち  
 自ら学び共に高め合う  
 生徒の育成

【校訓】  
 自立・共励・躍進

## 皆が待ちに待った「始業式」「入学式」…コロナに負けない！ “宮床魂”で目指す「自立」「共励」「躍進」

約2ヶ月遅れで、令和2年度の宮床中学校が始動し、校舎に生徒の笑顔と元気な声が戻ってきました。度重なる学校再開延期により、保護者の皆様には、教科書や副教材の配布、学習課題や電話連絡の対応等で御協力をいただきましたこと、心から感謝申し上げます。

通常の学校生活を送るまでには、まだ時間と努力を要します。日々の生活の有り難さと大切さを心に刻み、生徒一人一人と向き合いながら、学校・家庭・地域が一体となり、生徒の自己実現を支えてまいりたいと考えます。今後とも、御理解とご協力をお願いいたします。



〈校長室前の掲示〉



〈6月1日(月)第1学期始業式〉

新型コロナウイルスの感染拡大防止のために、3月2日から3ヶ月以上にわたって続いた臨時休業も終わり、ようやく学校がスタートしました。まず、君たちはこの休みの意義をよく理解し、外出を控えながら毎日をしっかりと過ごしました。大きな事故もなく、こうして元気に笑顔でまた会うことができたことは本当にうれしく思います。

ただ、学校が始まったからといって、感染の危険性がゼロになったわけではありません。自分の命と共に周りの人たちの命も守るために、学校再開のためのルールをしっかりと守って行動してください。不自由な部分もあるけれども、皆さんの一つ一つの行動が、この中学校生活を維持できるかどうかにつながります。緊張感をもって生活していきましょう。

さて、今日は第1学期始業式にあたって、学校教育目標についてお話をします。本校の学校教育目標は「**豊かな心を持ち、自ら学び共に高め合う生徒の育成**」です。今年度は、この教育目標の合い言葉として、三つの言葉を付け加えました。

**一つ目は、「自立」**です。この意味は、“**独り立ちする**”ということです。中学校教育は、簡単に言うと「大人になるための教育」だと私は考えています。日常生活はもちろんですが、授業、生徒会活動、部活動などを通して、『自分たちのことは自分たちでやる』力を身につけてほしいと考えています。何事にも自分で考え判断し、行動できる生徒になることを意識して過ごしていきましょう。

**二つ目は、「共励」**です。この意味は、文字どおり“**共に励まし合い、支え合う**”ことです。今、まさに日本は、世界は、歴史的な大混迷の中にいます。学校も、今までのような生活を送ることができません。マスクを着用しての生活になりますから、友だちとも大声で笑ったり、じゃれ合ったりすることができず、ストレスのかかる生活になります。こうした危機の状況だからこそ、互いに思いやりをもって、互いに励まし合って生活していくことが大事です。相手を敬いながら、接していきましょう。まさに『絆』が試される時です。『チーム宮床』で頑張ってください。

**三つ目は、「躍進」**です。この意味は“**めざましく成長、発展する**”ことです。今、不自由な生活を強いられている中で、多くの試練があり、明るい目標をもつことは難しいかもしれません。それでも『前を向いて進んでいく』『やれることはやっていく』。将来を見ずえて、高い志をもち、努力できる人間になってほしいと思います。不自由な状況の今だからこそ、考えて 考えて 工夫して 工夫して 生活していきましょう。そうした小さな努力の積み重ねが君たちを成長させてくれます。ピンチはチャンス!! 今の君たちの時期は、本当に大きく成長する時期です。前を向いて上を向いて、努力していきましょう。

最後に、この休校中、テレビを見て感動したCMがありました。「ポカリスエット」のCMです。皆さんも見たことがあると思います。あのCMのテーマは中高生の「合唱」だったそうです。けれどもこのコロナで集まって歌うことができない。そこで工夫したのは、あの映像のとおり、自撮りしてつなげて合唱にするということでした。中高生が、逆境の中でも、普段と変わらず生き生きとした姿で歌を歌っている姿、あのCMを見る度に勇気づけられるなあと感じています。



〈始業式に臨む2・3年生〉

“『**コロナに負けるな!!!**』を合い言葉に、**宮床魂**でこの状況を乗り切りましょう!!!”  
 “**君たちもできる!!!**”  
 以上で、簡単ではありますが式辞とします。 (本田史郎校長 第1学期始業式式辞より)



(6/3学年別時差登校：体育館で学活)

## 今後の6月の予定 (日程変更はメール等でお知らせいたします)

6/1(月)始業式、6/2(火)第74回入学式、6/3(水)・4(木)学年別時差登校

6/5(金)～10(水)学級分散登校(午前の部・午後の部：各3時限)。

6/11(木)・12(金)全校一斉午前授業(3時限)。\*衣替え(夏服)完全実施。

6/15(月)～通常授業(6時限)。給食・部活動開始。\*1年部活動見学開始。

\*授業は、昨年度未履修分の内容から実施し、新年度分に移行します。

## 〈6月2日(火)第74回入学式〉

頬をなでる初夏の風が爽やかなで、中学校から見える七ツ森の山々の緑も深みをまし青々しく瑞々しい季節となりました。新型コロナウイルスの感染により世界を巻き込む事態となり、学校再開が予定よりも2ヶ月も延期となりました。



〈北校舎から望む新緑の七ツ森〉

新しい制服に身を包み、入学式を迎えた119名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんが入学してくることを教職員、在校生一同大変心待ちにしていました。宮床中学校を代表して、心からお祝い申し上げます。皆さんは令和という新しい時代の初めての本校の入学式であり、輝かしい歴史と伝統を誇る宮床中学校の一員です。頼りになる先生方とともに優しい先輩たちが皆さんを全力で支えますので、早く中学校生活に慣れ、大いに力を発揮してください。それでは、皆さんが中学生になるにあたって、私から心に留めてほしいことを3つお話しします。

**一つ目は、「自分でできることは自分でやる」**ことです。これを「自立」といいます。中学校教育とは、簡単に言えば「大人になるための教育」だと私は考えています。大人になるためには、「自立」する姿勢を身につけることが大切です。朝の起床から夜寝るまで、今までご家族に支えてもらっていたことが何かを振り返りながら、自分でできることを求めて一つでも多く増やして欲しいと思います。

**二つ目は、「失敗を恐れず挑戦すること、失敗してもくじけずその失敗を生かす」**ことです。中学校には、小学校と比べて君たちが活躍できる場がたくさんあります。生徒会活動、部活動そして運動会などの行事にも実行委員会があります。中学校は、生徒が学校をつくると言っても過言ではありません。校外においても、弁論や英語暗唱など各種コンクールもあります。こうした場に積極的に取り組んで活躍してほしいと思います。この自ら積極的に取り組むのがいわゆる「挑戦」です。そして挑戦すれば成功だけでなく失敗もあります。“失敗は成功の母”ともいいますが、失敗をたくさんした人こそ大きくたくましく成長できると私は考えています。自分自身を大きく成長させるためにたくさんの挑戦を期待しています。

**三つ目は、「相手を敬い、人のために役立つ」**ことです。中学生になれば仲間とのつながりがさらに深まります。中には同級生だけでなく、年齢を越えて一生付き合える友人ができるのもこの時期です。日々の生活の中で、自分だけでなく友人や先輩、クラスや同じ部の仲間のために**何か役に立つことはないか**ということを考え、行動できる中学生になってほしいと思います。

さて、晴れの日を迎えられた保護者の皆様、お子様の入学おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。新型コロナウイルスの感染拡大防止の影響によって、度重なる延期でご迷惑をおかけしたこと、また例年とは異なり、規模も縮小し、時間も短縮しての入学式となってしまいましたこと誠に申し訳ありません。さらにこれまで、入学前にもかかわらず、教科書配布や学校からの電話連絡にも速やかに対応くださいましたことに心から感謝申し上げます。お子さんたちは今、子どもから大人へと自立していく過程のまさに真っ只中にいます。小学校から中学校へと大きく環境が変わることに期待と共に大きな戸惑いを感じていると思います。この時期の子供たちの心は大変多感であり、不安定であります。さらに、親から少しずつ手が離れていくように見えて、実は親からの多くの支えを必要としている時期でもあります。誰もが通る道ではありますが、大人へと自立する過程はそれぞれ異なり、大きな壁にぶつかることもあります。お子さんたちが、自分の志に向かって自立した大人へと成長できるよう、私たち宮床中学校教職員は、保護者の皆様そして地域の皆様との連携を大切にしながら、しっかり支えていきたいと思っております。この新型コロナウイルスの感染の影響によって、通常の教育活動ができない状況にもあります。今後も何かとご迷惑をおかけすることと思っておりますが、どうぞご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



結びになりますが、どんな状況にあろうとも『生徒の成長を第一』とし、保護者や地域の皆様の協力をいただきながら、「学ぶ喜びに満ち、生徒の笑顔あふれる活力のある学校づくり」と「家庭や地域に開かれた信頼される学校づくり」に邁進することをお誓い申し上げ、式辞といたします。

〈本田史郎校長 入学式式辞より(抜粋)〉

今年、入学式も遅れ不安に思っていたことと思います。今日を一つの区切りとして、中学校での生活を今新たに思い描き、是非3年間を充実したものにしたいと思っております。中学生になった喜びと期待で一杯であろう今の気持ちを大事にしてください。中学校では、「教科の呼び名」や「教科担任制」「部活動」「生徒中心の取組」など小学校とは違う面が多くあります。多くの先生との関わりや部活動、生徒会活動を通して「心・技・体」を鍛え、仲間との絆も深まります。目標に向かって努力し達成感を得る日々は忙しいけれど充実した日々です。



心配なことが出てくるかと思いますが、困ったり不安なときは、私たちに聞いてください。また、中学生になると、今まで以上に自分でできることが増えると共に、自分の行いに責任も伴ってきます。だからこそ、宮床中学校の生徒としての自覚をもち、勉強や部活動、そして、よりよい宮床中学校づくりに、共に日々励んでいきましょう。

「あかるく元気なあいさつ」は、宮床中学校がとても大事にしている伝統です。生徒会では、朝、昇降口で『あいさつ運動』をしています。「あいさつ」を大切にして多くの人と交流を深め、新入生の皆さんがすばらしい中学校生活を送れることを、在校生一同心から願っています。

〈入学式歓迎の言葉 生徒会長(一部要約)〉

## 〈感謝とお願い〉

○今年度も、大須賀茂様はじめ宮床地区の方々が、登下校時のバス停見守りボランティアをしてくださっています。感謝申し上げます。



○感染予防の登校前検温(押印)やマスク着用等へのご協力ありがとうございます。体調不良時は、病院受診を確実にお願いします。

〔宮床中学校〕〒981-3624 黒川郡大和町宮床字四辻13番地の7

Tel:022-346-2006・022-347-8151 Fax:022-347-8152

「宮床中だより」は学校HPにも掲載しています。<https://www.taiwa-tk.ed.jp/miyatoko-j/>〈文責：教頭〉